取扱説明書

Bearmax

電子ミシン

商品型番：UFR-611（ユーエフアール）



お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

株式会社クマザキエイム

安全のために

本製品は安全に十分配慮して設計されていますが、まちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

警告表示の意味
取扱説明書には次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。


警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。


注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】

 の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。

 の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

 の記号は「しなければならない行為」を示します。

 警 告



交流100V以外の電圧では使用しない
自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因になります。



コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら、電源プラグをコンセントから抜いてください。



ACアダプタを傷つけないこと
コードが破損し、火災・感電の原因になります。



分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因になります。



水ぬれ禁止
近くに水の入った花瓶などを置かないようにするとともに、水がかかるような場所では使わないこと。水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。



内部に小さな金属類(ヘアピンなど)や燃えやすいものを入れない
火災・感電の原因になります。



ぬれ手禁止
ぬれた手でACコードの抜き差しをしないこと。感電するおそれがあります。



点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください(有料)。そのまま使用すると火災等の原因になります。



コンセントから抜くときはプラグを持つ
コードを引っ張ると内部で断線し、感電や発火につながる恐れがありますので大変危険です。



電源コードは無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、何かに巻きつけたりしない
コードが内部で断線したり破損して、火災・感電の原因になります。



ミシン操作中にネクタイ・ネックレス・髪などを針周辺に近づけない
万一引き込まれた場合は、ただちに電源を切って取り除いてください。



以下のような時は電源スイッチを切り、電源プラグを抜く
プラグを差し込んだままにしておくと、思わぬ火災や感電の原因となることがあります。
・ミシンのそばを離れるとき
・ミシンを使用しないとき
・ミシンのお手入れをするとき
・ミシンを移動させるとき
・ミシン使用中に停電した時

注 意

禁止

ぐらついた台や傾いた所に置かない
落下しケガ・故障の原因になります。



温度の異常に高い場所で使用しない
火災・故障の原因になることがあります。



調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や、油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電・故障の原因になることがあります。



駐車中の自動車内等、高温になる場所で保管しない
樹脂部品の変形の原因になります。



ミシンには正規の部品(ボビン・針等)を使用する



最初のひと針は、必ずプーリーを手で回し、布に針が刺さった状態から操作を始める



ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、プーリー、天びんなどすべての動いている部品に手を近づけない



曲がった針は使用しない



お子さまがご使用になる時やお子さまの近くで使用される時は、特に安全に注意する



お手入れの際、シンナーやベンジンで拭いたりしない
変質・破損・塗料はがれの恐れがあります。

故障かな？と思ったら

お客様ご相談センターにご相談になる前に、もう一度下記の内容をご確認ください。

こんなときは	対処
ミシンが回らない	・電源コードを正しくセットする。 ・電源スイッチを“オン”の位置にする。 ・ボビンを正しい位置にセットする。
回転が重い	・送り歯やかまにたまっている糸くずやごみを取り除く。 ・針が曲がっていたり先がつぶれていたら、新しい針と取り換える。
布を送らない	・押さえが下りているか確認する。
縫い目がとぶ	・布に合った針・糸を使っているか確認する。 ・針が曲がっていたり先がつぶれていたら、新しい針と取り換える。 ・針が針棒の一番奥まではいっているか確認する。 ・上糸調子が強すぎたら弱くする。 ・上糸が正しくかかっているか確認する。 ・糸くずがかまにたまっていたら取り除く。
針が折れる	・布を無理にひっぱらないようにする。 ・布に合った針・糸を使っているか確認する。 ・押さえが正しく取り付けられているか確認する。 ・ボビンケースを正しい位置にセットする。
糸が布と針板の間でだんごになる	・縫い始めに上糸と下糸を押さえの下から向こう側へ10cmほど引き出す。
上糸がとぶ	・上糸が正しくかかっているか確認する。 ・上糸調子が強すぎたら弱くする。 ・針が曲がっていたり先がつぶれていたら、新しい針と取り換える。
下糸が切れる	・糸くずがかまにたまっていたら取り除く。
縫い物にしわがよる	・上糸調子が強すぎたら弱くする。 ・針が曲がっていたり先がつぶれていたら、新しい針と取り換える。 ・薄物に対して縫い目が大きい場合は小さくする。
上糸がかまにからまって縫えない	・上糸を少しゆるめて、プーリーを手前に回して糸を引き上げる。 ・かまに糸がからまっていたら、はさみで切って取り除く。

各部のなまえ





付属品を取り出す





1. 底面にある凹部に指をかけて、矢印の方向に補助テーブルを引き出します。



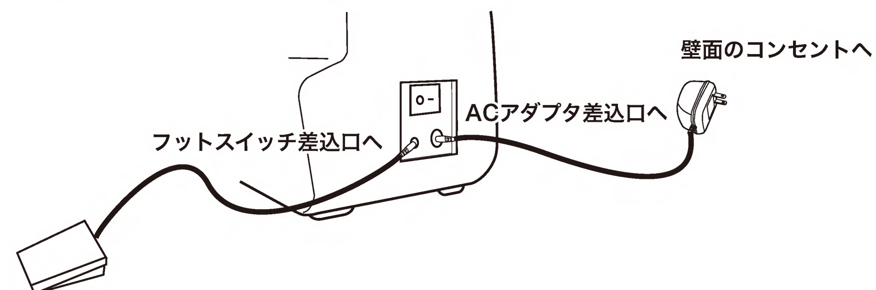


2. 上図のように親指を置き矢印の方向へ強く引きます。
付属品を取り出します。

付属品を確認する



電源をつなぐ



下糸を準備する ボビンに糸を巻きます。



1．糸立て棒に糸ごまを入れます。

2．糸ごまの糸を持って、
糸案内台を経由して糸を引きます。

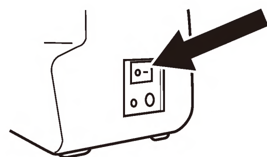




3．ボビンの穴に糸を通し、
ボビンを下糸巻き軸にはめこみます。



4．糸の端を持ち、ボビンを右へ押します。



5．本体の電源を入れます。
フットスイッチを踏み、
ボビンが数回回転したら糸を離します。

6．下糸が一杯になってボビンの回転がとまったら、フットスイッチから足をはずして
ミシンを止めます。
下巻き軸を左に戻してボビンを外し、糸の端を切ってください。

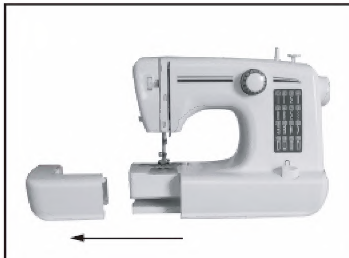
上糸を準備する

上糸をかける前に行ってください。
・糸ごまをセットします。
・押さえを上げます。
・プーリーを回して天びんを最上点に上げます。

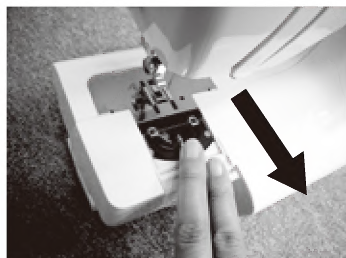


下糸をセットする ＊上糸を準備しておきます。

1．プーリーを回して針を最上点に上げます。

2．矢印の方向に補助テーブルを引き出します。



3．かまカバーを矢印の方向にスライドさせてカバーをはずします。



4．糸の端がボビンの左側から垂れるようにして、ボビンを入れます。

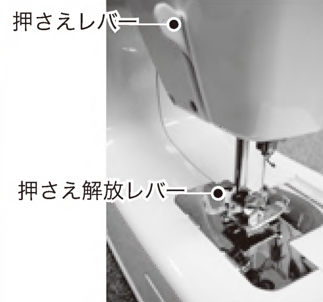



5．布押さえを上げます。
針糸を持ってプーリーを手前に回します。

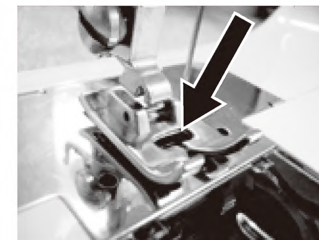
上糸を軽く引っ張り上げると
下糸がついてあがります。
下糸を手前に引き出してください。
かまカバーを元に戻します。

両糸をそろえて押さえのみぞに入れ、押さえの下を通して後ろへ引き、糸を 10cm ほど残しておいてください。

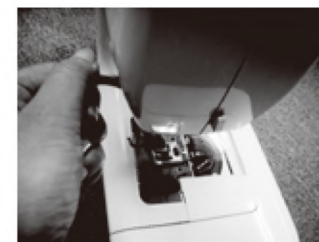
押さえを取り換える ＊必ず電源を切ってください。



1．押さえレバーを上に上げます。
押さえ解放レバーを上へ押すと押さえがはずれます。

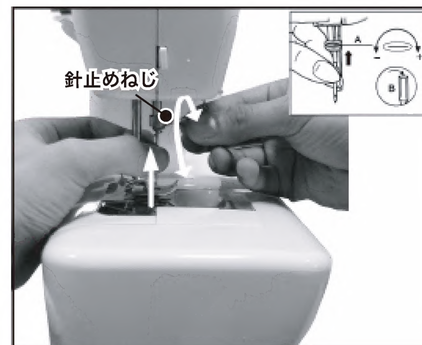


2．針板と押さえの穴が合うように、押さえを針板の上におきます。



3．押さえレバーを下げるとセットされます。
入りにくい時は、
押さえ解放レバーを
押すと入ります。

針を取り換える ＊必ず電源を切ってください。



1．プーリーを手前に回し、針棒を最上点に上げます。

2．針止めねじをゆるめて針をはずします。

3．新しい針の柄の平らな面を向こう側に向けて持ち、針が針棒のピンに当たるまで差し込みます。

4．針止めねじを固くしめます。

筒状になった部分を縫う



補助テーブルをはずしてフリーアームにします。
フリーアームに、筒型になった部分を入れて縫います。

縫ってみましょう

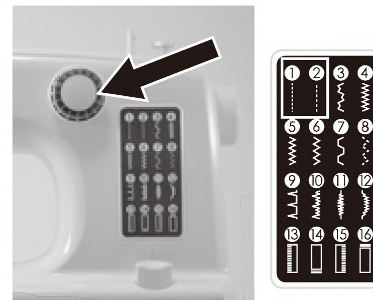


縫い模様選択ダイヤル

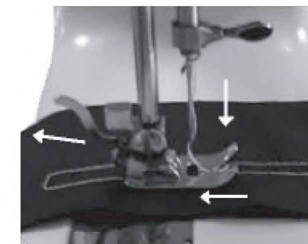
縫い模様	ダイヤル
直線縫い	① ②
ジグザグ縫い	③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧
かくし縫い	⑨ ⑩
スカラップ縫い	⑪ ⑫
ボタン穴	⑬ ⑭ ⑮ ⑯

直線縫い

1．プーリーを手前に回して天びんを一番上まで上げます。



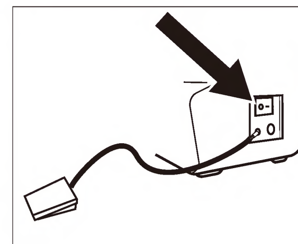
2．ダイヤルを回して、縫い模様１もしくは２に合わせます。



3．上糸と下糸をそろえて押さえの下から向こう側へ10cmほど引き出します。

4．布を押さえの下に入れ、押さえを下げます。

5．プーリーを手前に回して針を布に刺します。



6．本体の電源を入れて、フットスイッチを踏んで縫い始めます。
布はしまできたらフットスイッチから足をはずして停止させます。



7．縫い終わったら針と押さえを上げ、布地をうしろへ引き出し、糸切りで糸を切ります。
切った糸はそろえてうしろへ引いておきます。

返し縫い

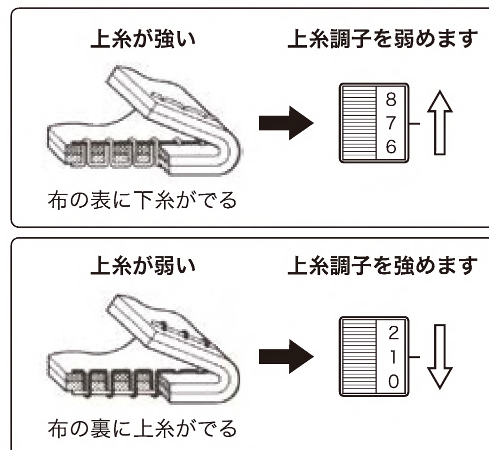


縫い始めと縫い終わりに3~5針返し縫いをしておくと、縫い目がほころびません。
ボタンを押し下げている間、返し縫いをします。

糸調子のとりかた

直線縫いの場合、上糸と下糸が布の中間で、適当な張力をもってからみ合うのが正常な糸調子です。





＊上糸調子ダイヤルの数字が大きくなるほど上糸調子は強くなります。
＊本機は水平釜ですので、基本的に下糸の調節は不要です。

ジッパー縫い

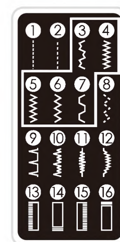


1．9ページを参考に、ジッパー用押さえを取り付けます。
ジッパーの位置に合わせて、右もしくは左側に取り付けます。



2．押さえの中央にジッパー部分を合わせて縫います。

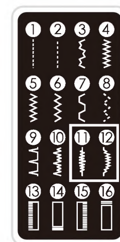
ジグザグ縫い

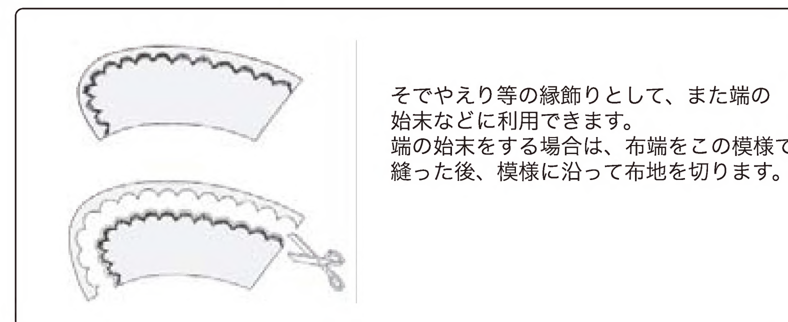




ジグザグ縫いの糸調子は、
布の裏側に上糸が少し出るように
直線縫いより上糸調子をやや弱めに
してください。

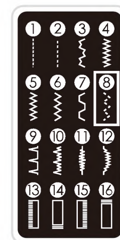
スカラップ縫い

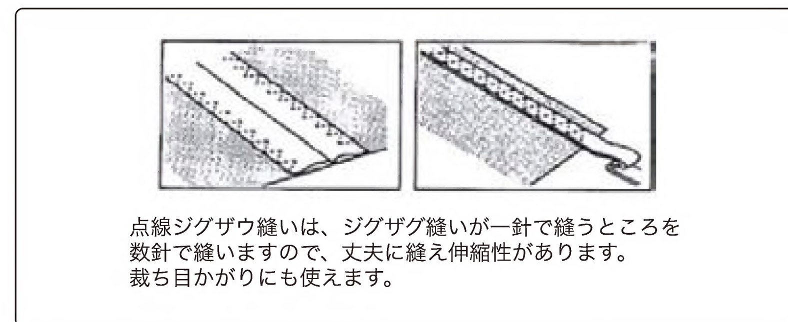




そでやえり等の縁飾りとして、また端の始末などに利用できます。
端の始末をする場合は、布端をこの模様で縫った後、模様に沿って布地を切ります。

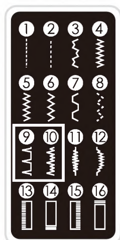
点線ジグザグ縫い

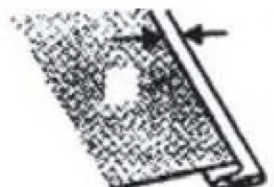




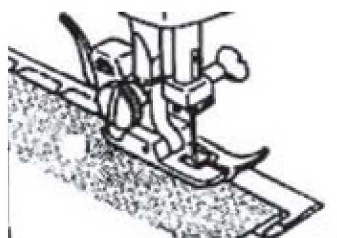
点線ジグザウ縫いは、ジグザグ縫いが一針で縫うところを数針で縫いますので、丈夫に縫え伸縮性があります。
裁ち目かがりにも使えます。

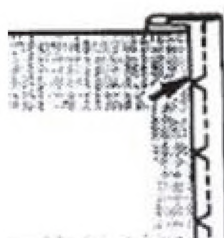
かくし縫い





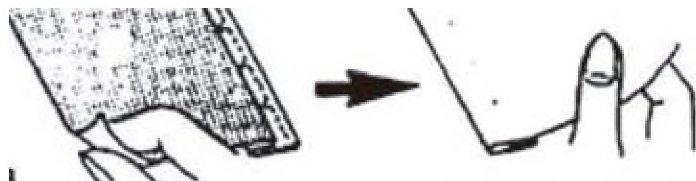
1．布端を裁ち目かがりするか、二つ折りにします。





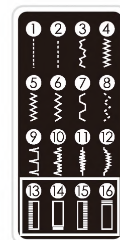
2．出来上がり線にそって布を折り、布端または折り山から7~8mm入ったところからすそに向かって、図のように折ります。

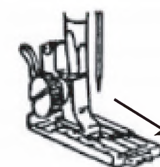
3．針が左に落ちるとき、針が折り山をわずかに刺すように縫っていきます。



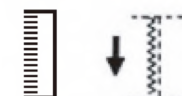
4．布を表にひらくと出来上がります。

ボタン穴縫い





1.9ページを参考に、ボタン穴用押さえをセットします。押さえを手前にいっぱいに引き出し、縫い始めの位置に合わせて押さえを下げます。



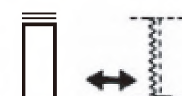
矢印の方向へ必要な長さだけ縫います。



左右に4~5針縫います。



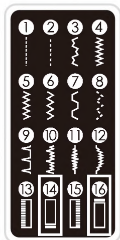
返し縫ボタンを押して縫い始めの線まで縫います。



左右に4~5針縫います。

縫い終わったらシームリッパーで中央の布地を切り開きます。
その際、縫い糸を切らないように注意してください。

ボタン縫い ＊最初にプーリーを手で回して、ボタンと縫い模様の幅が合うか確認してください。







1．ボタン縫い用プレートの突起と針板の穴を合わせてプレートを取り付けます。

2．布をセットし、押さえの下にボタンを置きます。押さえを下げます。

3．縫い模様14もしくは16に合わせて縫います。

主な仕様/ 保証とアフターサービス

電源：　入力；AC100V 50/60Hz 出力；DC12V 1500mA
最大外形寸法(約)：（幅）390×（奥）150×（高）280mm
質量（約）：　2.8kg（付属品含まず）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。お読みいただいた後は、大切に保管してください。

保 証 書

本商品が故障した場合には、下記に必要事項をご記入の上、弊社にお送り頂くようお願い致します。
尚、この保証は次に明示した期間、及び条件のもとにおいて無料修理あるいは交換をするものです。

商品名	電子ミシン　商品型番：UFR-611
保証期間	お買い上げ日から１年間
お買い上げ日	平成　　年　　月　　日
お買い上げ店	
お客さまご住所	〒 電話番号
お客さまお名前	
故障の症状	

[無料保証規定]
1. 正常な状態（取扱説明書に従った状態）で故障した場合には、本体商品を無料で修理又は、交換をさせていただきます。
2. 保証期間はお買い上げ日より１年間となります。
3. 故障の場合は本書のコピーをとり、上記「故障の症状」欄に状況を記入いただき、商品に同梱の上お送りください。
4. 使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、損傷は保証の対象外となります。
5. お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷は保証の対象外となります。
6. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、指定以外の電源（電圧、電流、周波数）による故障及び損傷は保証の対象外となります。
7. 本書にお買い上げの年月日、お客様名、お買い上げの販売店名の記入がない場合は保証の対象外となります。
8. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
9. この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※本保証書は保証規定により、無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※お客様の個人情報は、商品に関するご質問や故障の際、お客様と連絡を取るためにのみ使用するものです。

輸入・総発売元
株式会社　クマザキエイム
〒222-0013 横浜市港北区錦が丘12-17
TEL：045-401-7486 FAX：045-435-0057
E-mail:info@kumazaki-aim.co.jp
URL: www.kumazaki-aim.co.jp

200801